

第2回長久手市総合計画審議会



平成29年12月18日(月)

午前10時から

長久手市 市長公室 経営企画課

1

議題1-(1)

基本構想の検討状況について
(資料1-1・2・3)

第1回総合計画審議会のふりかえり (策定方針)

策定方針

2050年に向け、 市民主体のまちづくり文化を 育む種を蒔こう！

2050年までには、子どもからお年寄りまで全ての人が「まちづくり」に関わることを「当たり前」にしたい。

そのためのファーストステップとして、次期総合計画では、多くの市民にまちでの役割を担ってもらうことを目指す。

できあがる計画の中身も大事だが、
「策定機会」を通じて、何を目指すか、も重要

- ① **多くの市民が策定に関わること**
- ② **「まちづくり」を「我が事」と捉える市民を増やすこと**
- ③ **市民同士のつながりが生まれ、計画実行を担う市民を育てること**

長久手市未来まちづくりビジョン

第6次総合計画基本構想

基本計画

連動

市民まちづくりプラン

● 基本構想

本市が目指す将来像とその実現のための方針をまとめたもの
期間：平成31年度～平成40年度（10年間）

● 基本計画

基本構想の実現のため、行政が実施する内容をまとめたもの
期間：平成31年度～平成40年度（10年間）※中間見直しあり

● 市民まちづくりプラン

基本構想の実現のため、市民が実施する内容をまとめたもの
期間：平成31年度～

第6次総合計画(ながくて未来図)づくり これまでの取組(~H29.9)

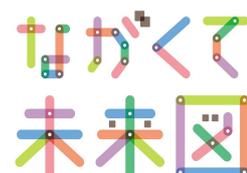
第6次総合計画(ながくて未来図)づくりこれまでの取組(~H29.9)

① 総合計画基礎調査

⇒人口推計、市民意識調査等

② 総合計画愛称総選挙

⇒「ながくて未来図」に決定！



③ キックオフパーティー (2回)

策定作業のキックオフとして、“出会う”“知り合う”“語り合う”をテーマに、開催



《参加者》 延べ249名

《成果》 「**将来**」に関する意見 (5/28) と
「**現状の魅力**」に関する意見 (7/9) をもらう

④ 知って、話して、考える Think Nagakute キャラバン

「総合計画」と「自治基本条例」づくりについて、知ってもらい、話して、考えるワークショップを全6小学校区で開催



《参加者》 延べ243名

《成果》 「**現状の課題**」に関する意見をもらう

⑤ 小中学生からの意見

市内の小学生・中学生を対象に、『まちの将来を考える「 だったらいいネ 」』をテーマに、意見をもらう

意見収集時期	対象
平成29年2～3月 (平成28年度)	市内中学3年生
平成29年6～7月 (平成29年度)	市内小学6年生 市内中学生(全学年)

《参加者》2,962名

《成果》 「将来」に関する意見をもらう

⑤ 団体ヒアリング

市内で活動している市民団体30団体にヒアリングを実施

分野	団体
子育て・教育 (7団体)	学童父母会(長久手、長久手北、長久手南、市が洞)、希望の会、ウェンディの箱、長久手点字サークル
福祉・健康 (9団体)	長久手市身体障害者協会、ほっとクラブ、社会福祉法人日本介助犬協会、長久手市民生委員児童委員協議会、NPO法人つづら、がんこおやじの会、なごみ、ながくてすこやかメイト、長久手市食生活改善推進委員
つながり・安心安全 (7団体)	リニモ沿線合同大学祭実行委員会、長久手市観光交流協会、ういっいの会、長久手南小学校区防犯パトロール連合、上川原防犯パトロール、西小学校区防犯コミュニティ、長久手市文化の家フレンズ
みどり・環境 (7団体)	香流川をきれいにする会、長久手湿地保全の会、NEXPO(長久手・万博継承会)、食と農を考える会、ながくて里山クラブ、長久手みなみ里山クラブ、平成こども塾サポート隊

《成果》 「現状」「将来」に関する意見をもらう

みんなの思い集

みんなの思い集

基本構想をつくっていくため、
集めた意見を「みんなの思い集」
にまとめました！

みんなの思い集とは・・・

次期総合計画（愛称：ながくて未来図）の策定にあたり、様々なカタチで、関わっていただいた**延べ3,474人**の“思い”をまとめた資料

- 第1回ながくて未来図（総合計画）づくりキックオフパーティー
- 第2回ながくて未来図（総合計画）づくりキックオフパーティー
- 知って、話して、考える Think Nagakute キャラバン
- 小中学生からの意見（「○○だったらいいネ！」）
- 団体ヒアリング

みんなの想い集から、
「大切にしたい5つのモノ」
「6つのカテゴリー」
を導きました。

大切にしたい5つのモノ

どのカテゴリーの取組を進める上でも重要となるもの

笑顔

あいさつ

役割

つながり

愛着

6つのカテゴリー

それぞれのカテゴリーごとに、具体的な目指すまちの姿となる基本目標を設定します

人づくり

子ども

自然環境

生活

交流

都市整備

5つの大切なモノ

～「笑顔」「あいさつ」「役割」「つながり」「愛着」～

現状に関する意見

魅力

課題

子どもたちが
元気に
あいさつをする

近所の人
がやさしい

地域のつながり
が少ない

誰が引っ越し
てきたか
わからない

将来に関する意見

知らない人でもあ
いさつするときは
笑顔であいさつで
きるといいネ

自分の子ども、
孫たちが「大好き」
と言えるようなまち

昔ながらの
「向こう三軒両隣」
があるまち

「人づくり」

【主なキーワード】 学校教育、次世代育成、女性活躍、生涯活躍、
地域コミュニティ、協働 等

現状に関する意見

魅力

課題

素敵な
ボランティア
さんが多い

まちづくりに
熱心な人が
多い

活動している人と
していない人の
差が大きい

自治会、PTA、
子供会
の担い手不足

将来に関する意見

自分から「やろう」
とチャレンジでき
るまちだといいいネ

大学生も活躍できる
市だったらいいね！

高齢者が働く
場所があるまち

「子ども」

【主なキーワード】 妊娠・出産支援、育児支援、保育環境 等

現状に関する意見

魅力

課題

公園で子どもが
いっぱい
遊んでいる

子どもが多く、
活気がある

子ども達は大きく
なると市外に出て
いってしまう

子育てで悩み
を抱えるお母
さんたちの居
場所がない

将来に関する意見

子どもたちが、
すくすくと育つ
まちだといいいネ

子ども達が楽しく
学校に通えるような街

子どもが放課後に
安心して過ごせる
場所があるまち

「自然環境」

【主なキーワード】 みどり、里山、農業、自然環境、水辺環境、
低炭素社会、景観 等

現状に関する意見

魅力

自然との共存
ができています

ホテルが
いる

課題

耕作放棄地が
増えている

子どもが自然
とふれあう場
が少ない

将来に関する意見

都市と田舎
どちらもあると
いいネ

まちなかに農や緑が
たくさんできたら
いいな！

里山が維持
されたまち

「生活」

【主なキーワード】 地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、健康、地域医療、
市民相談、防犯、防災、交通安全、空き家 等

現状に関する意見

魅力

福祉行政が
行き届いている

まちの
パトロールを
している人が
いる

課題

介護者・支援者の
高齢化

車に乗れなく
なった時の
交通手段

将来に関する意見

みんなが長生き
しているまちが
いいネ

防災意識が
高いまち

福祉サービスが
充実し、弱者にもや
さしいまちであって
ほしい

「交流」

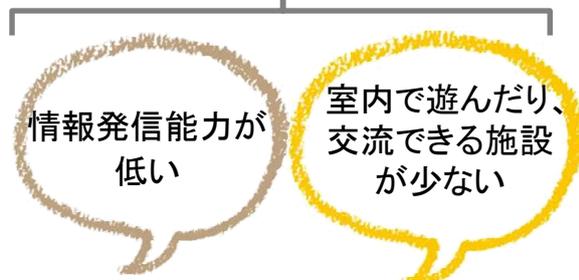
【主なキーワード】 観光交流、文化・芸術、歴史、スポーツ、大学連携、図書館 等

現状に関する意見

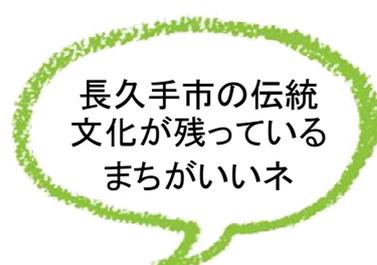
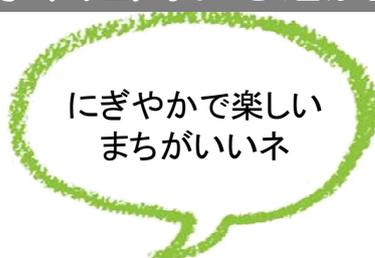
魅力



課題



将来に関する意見



「都市整備」

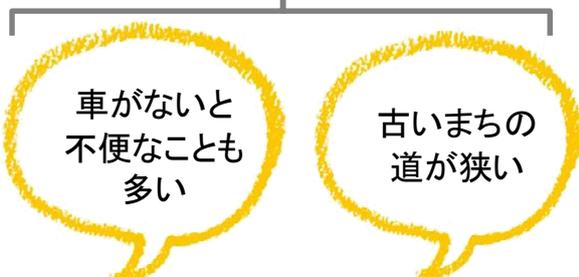
主なキーワード 道路・公共交通・公共施設・市街地整備 等

現状に関する意見

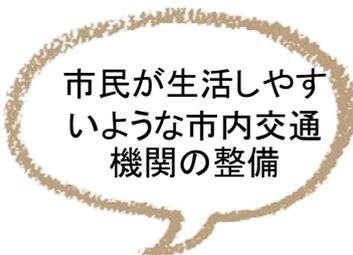
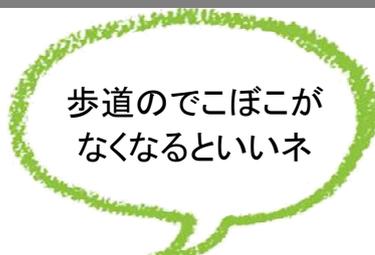
魅力



課題



将来に関する意見



みんなの想い集

資料1-1

■基本構想の検討状況について

どのカテゴリーの施策を進める上でも、大切なモノ

笑顔／あいさつ／役割／つながり／愛着



- ・上記の5つの「大切なモノ」を意識し、下記の6つのカテゴリー（+市政運営）ごとの基本目標達成に向けて取り組む。
- ・その取組過程で、上記の5つの「大切なモノ」もさらに醸成されていく。

カテゴリー	基本目標（案）	資料1-2参照	主なキーワード
人づくり	「やってみたい」でつながるまち	学校教育	次世代育成、農業、障がい者福祉、自然環境、高齢者福祉
子ども	子どもが感性豊かに生きられるまち	妊娠・出産支援	水辺環境、女性活躍、低炭素社会、保育環境、市民相談
自然環境	みんなでみらいへつなぐ みどりはまちの宝物	みどり	地域コミュニティ、育児支援、公共施設、防犯、大学連携、景観
生活	みんながつながり、 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち	地域福祉	観光交流、防災、交通安全、生涯活躍、地域医療、協働、健康、スポーツ
交流	いつでもどこでもだれとでも 広がる幸せの和	観光交流	道路、空き家、公共交通、歴史、図書館、市街地整備、文化・芸術
都市整備	あえて、歩いてみたくなるまち		
市政運営	職員が飛び出すまち	職員育成、行財政改革、業務改善、民間活力導入、自治体間連携	



- ・5つの「大切なモノ」を意識し、6つのカテゴリー（+市政運営）ごとの基本目標に向けて、他のカテゴリーの施策と連携しまちづくりをすすめ、理想像の実現を目指す。

まち全体の将来像	まちや人の状態
資料1-3参照	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から笑顔で生活ができていると感じている ・日頃から近所の人にあいさつをする、される習慣がある ・自分がこのまちの一員である（役割がある）と感じられる ・近所で声をかけ合って、頼り、頼られる関係（つながり）がある ・地域に愛着がある

第6次総合計画（ながくて未来図）づくり
これまでの取組（H29.10～）

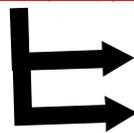
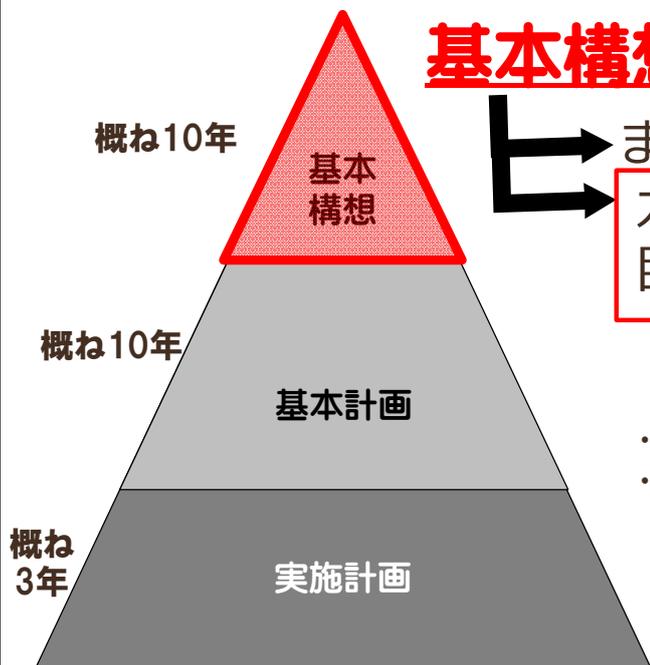
H29.9までは
基本構想をつくるため、意見を
「集めてきた」



H29.10以降の
テーマ別検討会議は、
基本構想をつくるため、意見を
「まとめていく」

『みんなの思い集』を踏まえ、
テーマ別検討会議で

基本構想をつくる



まち全体の**将来像**

カテゴリごとの具体的な
目指すまちの姿「**基本目標**」



- ・多くの方に楽しみながら考えてもらいたい
- ・できた基本構想に興味を持ってもらいたい

⇒カテゴリごとの
2028年の理想の姿を
「物語」として描く！

第6次総合計画(ながくて未来図)づくりこれまでの取組(H29.10～)

基本構想の検討状況について

資料1

「**カテゴリーごとの具体的な**
目指すまちの姿「基本目標」⇒「物語」として描く

カテゴリー	基本目標(案)	資料1-2参照	主なキーワード
人づくり	「やってみたい」でつながるまち	学校教育 次世代育成	農業 障がい者福祉 自然環境 高齢者福祉
子ども	子どもが感性豊かに生きられるまち	妊娠・出産支援 水辺環境	女性活躍 低炭素社会 保育環境 市民相談
自然環境	みんなでみらいへつなぐ みどりはまちの宝物	みどり	育児支援 公共施設 防犯 大学連携 景観
生活	みんながつながり、 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち	地域福祉 地域コミュニティ	観光交流 防災 交通安全 生涯活躍 地域医療 協働 里山 スポーツ
交流	いつでもどこでもだれとでも 広がる幸せの和	道路 空き家 公共交通 歴史 図書館	市街地整備 文化・芸術
都市整備	あえて、歩いてみたくなるまち		
市政運営	職員が飛び出すまち	職員育成、行財政改革、業務改善、民間活力導入、自治体間連携	

・5つの「大切なモノ」を意識し、6つのカテゴリー(＋市政運営)ごとの基本目標に向けて、他のカテゴリーの施策と連携し
 まちづくりをすすめる、理想像の実現を目指す。

まち全体の将来像

まちや人の状態

資料1-3参照

- ・日頃から笑顔で生活ができていると感じている
- ・日頃から近所の人にあいさつをする、される習慣がある
- ・自分がこのまちの一員である(役割がある)と感じられる
- ・近所で声をかけ合って、頼り、頼られる関係(つながり)がある
- ・地域に愛着がある

第6次総合計画(ながくて未来図)づくりこれまでの取組(H29.10～)

① 第1回テーマ別検討会議(10/21)

「みんなの思い集」で導いた6つのカテゴリーごとに「理想の未来のシーン」を考える



《参加者》60名

《成果》カテゴリーの理想の未来に必要な要素の抽出

② 第2回テーマ別検討会議 (11/3)

- ・ 第1回で抽出した理想の未来に必要な要素をもとに、物語をつむぐ
- ・ まち全体の将来像の検討



《参加者》 75名

- 《成果》
- ・ 理想の未来の物語のたたき台の完成
 - ・ 将来像に必要なイメージの抽共有

③ 第3回テーマ別検討会議 (11/26)

- ・ 第2回で作成した未来の物語のたたき台をもとに、足りない視点などを話し合う
- ・ まち全体の将来像の検討



《参加者》 73名

- 《成果》
- ・ 理想の未来の物語のブラッシュアップ
 - ・ 将来像の候補(案)がいくつかできる

④ 作戦会議の実施 (10/26・11/17)

各回のテーマ別ワークショップの間に、有志の市民と若手職員で、前のワークショップで出た意見を整理し、次のワークショップの向けての準備を行う



《参加者》延べ52名

⑤ 途中経過の全戸配布

途中段階のものを積極的に情報提供

- **みんなの思い集 (11月中旬)**
- **ながくて未来の物語 (11月下旬)**

《目的》

- 多くの方に策定過程を知ってもらう。
- 途中段階で相談をかけることで、より多くの人に関わってもらう。

資料1-1 基本構想の検討状況について

■基本構想の検討状況について

資料1-1

どのカテゴリーの施策を進める上でも、大切なモノ

笑顔／あいさつ／役割／つながり／愛着



- ・上記の5つの「大切なモノ」を意識し、下記の6つのカテゴリー（+市政運営）ごとの基本目標達成に向けて取り組む。
- ・その取組過程で、上記の5つの「大切なモノ」もさらに醸成されていく。

カテゴリー	基本目標（案）	資料1-2参照	主なキーワード
人づくり	「やってみたい」でつながるまち	学校教育	次世代育成 農業 障がい者福祉 自然環境 高齢者福祉
子ども	子どもが感性豊かに生きられるまち	妊娠・出産支援	水辺環境 女性活躍 低炭素社会 保育環境 市民相談
自然環境	みんなでみらいへつなぐ みどりはまちの宝物	みどり	地域福祉 地域コミュニティ 育児支援 公共施設 防犯 大学連携 景観
生活	みんながつながり、 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち	観光交流	防災 交通安全 生涯活躍 地域医療 協働 健康
交流	いつでもどこでもだれとでも 広がる幸せの和	道路	空き家 公共交通 歴史 図書館 市街地整備 文化・芸術
都市整備	あえて、歩いてみたくなるまち		
市政運営	職員が飛び出すまち		職員育成、行財政改革、業務改善、民間活力導入、自治体間連携



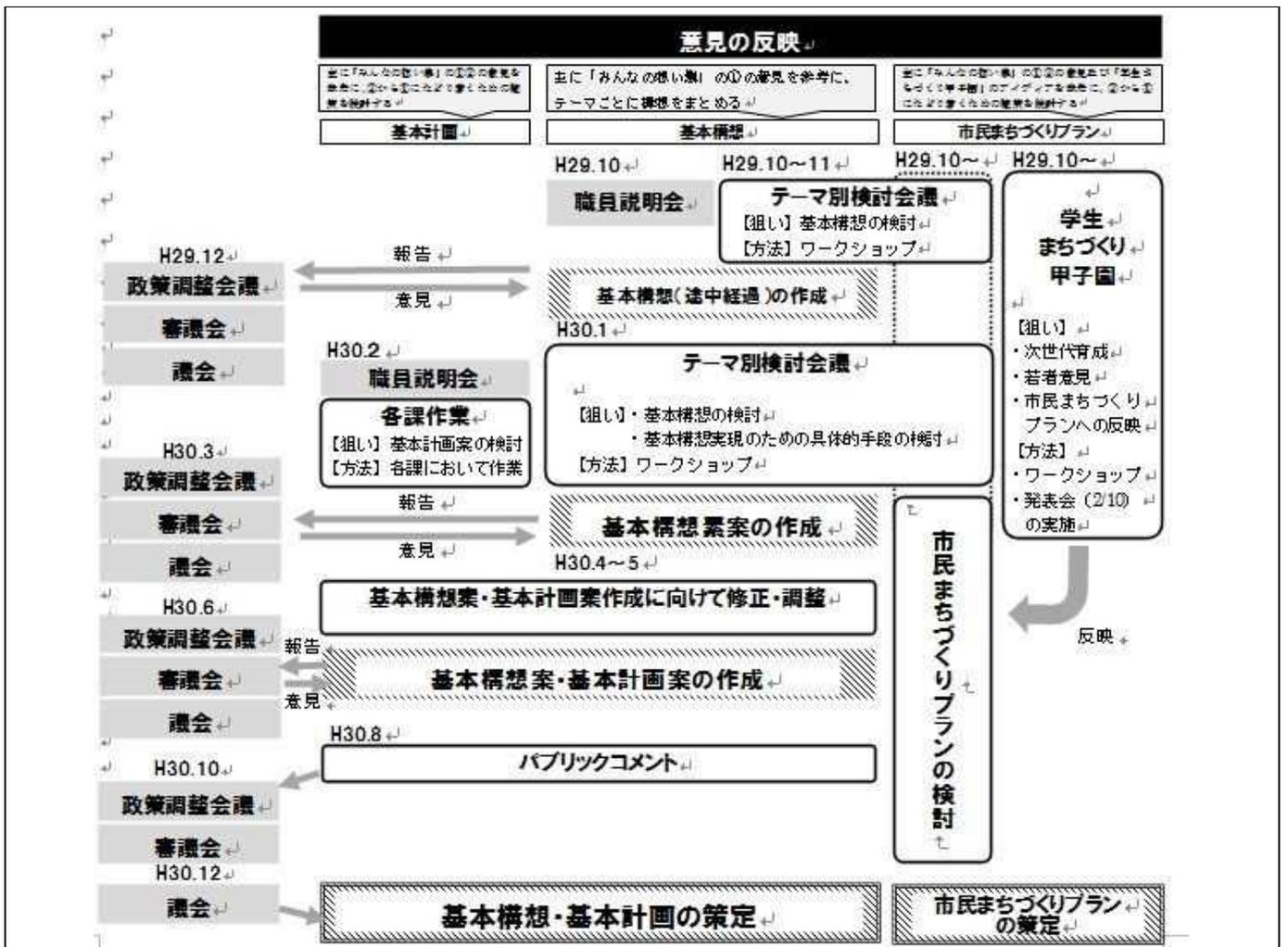
- ・5つの「大切なモノ」を意識し、6つのカテゴリー（+市政運営）ごとの基本目標に向けて、他のカテゴリーの施策と連携しまちづくりをすすめる、理想像の実現を目指す。

まち全体の将来像	まちや人の状態
資料1-3参照	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から笑顔で生活ができていると感じている ・日頃から近所の人にあいさつをする、される習慣がある ・自分がこのまちの一員である（役割がある）と感じられる ・近所で声をかけ合って、頼り、頼られる関係（つながり）がある ・地域に愛着がある

資料1-2
基本構想 基本目標(案)について

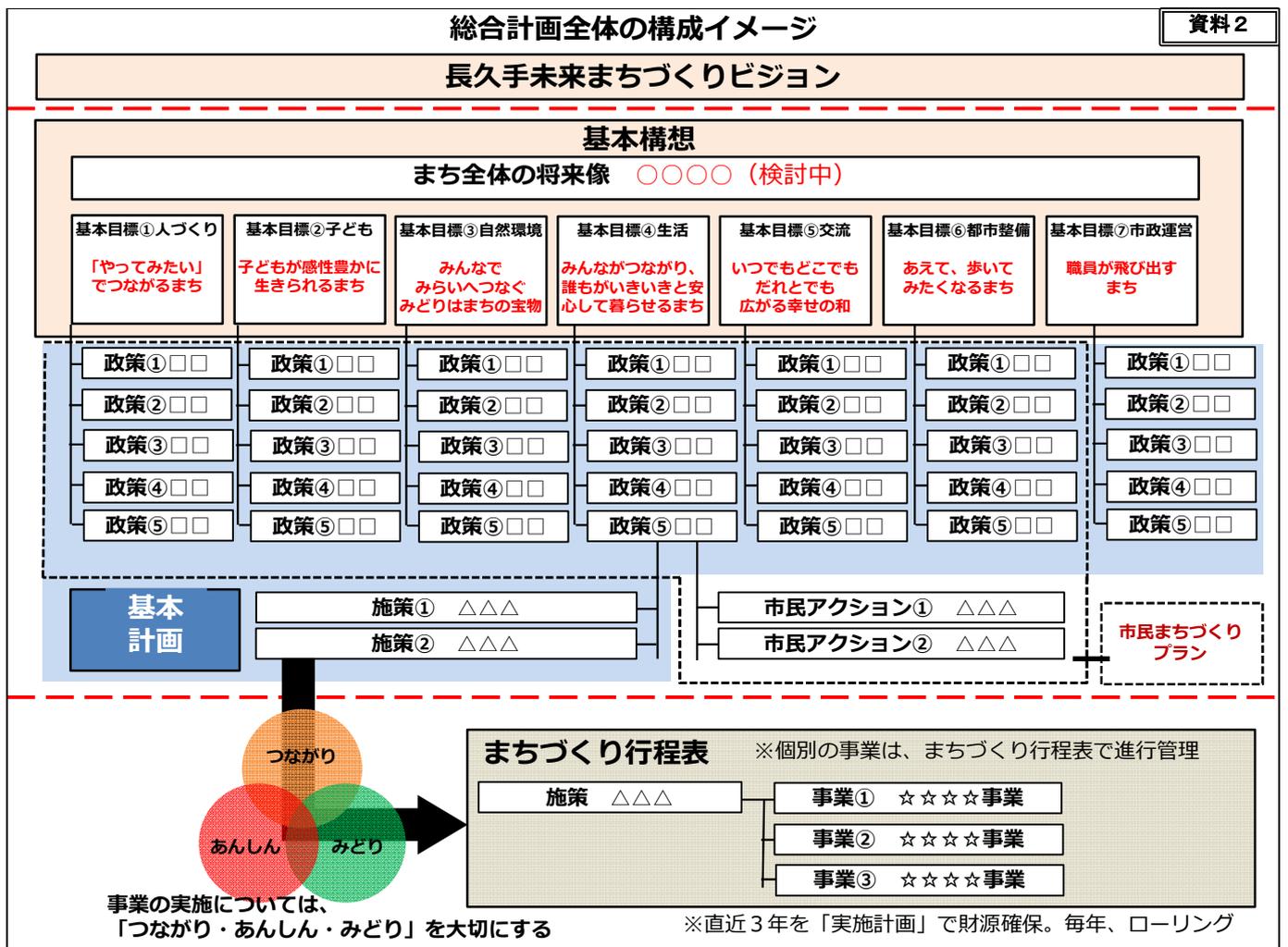
資料1-3
基本構想 「将来像」について

資料1-4 策定スケジュール



議題2

総合計画全体のイメージについて (資料2)



議題3

人口フレームについて (資料3)